



木曽林務課だより 8月

7月に入って日本列島にどっしり居座った梅雨前線の大雨で、木曽管内では、いろいろな場所で災害が発生し、6月号で紹介したドローンが災害調査に活躍しています。

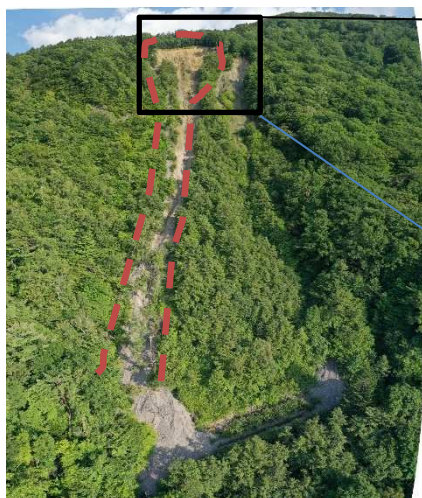
本日はその活躍の一部をお伝えします！

災害調査にドローン活躍！

停滞する梅雨前線による大雨は、7月の平年値に対して、御嶽山、木曽福島の降水量はともに約3.6倍の降水量となり、特に木曽福島では、年間降水量の1/2以上になりました。この大雨は、管内の多数の箇所でも土砂崩落等の災害を引き起こしました。

木曽地域振興局林務課では、これらの災害の復旧にむけての準備を関係機関とともに進めています。しかし、今回の災害では、林道などの道路の被災による通行止めや、降り続く雨により二次災害の危険があること等から立ち入りが難しい現場がでてきています。

こうした現場において、上空から現場の全体像や、崩落の危険があり人が近づきにくい現場の様子を確認に6月に操作研修を行ったドローンを職員が積極的に活用して、調査を行っています。



崩壊の全景の確認



崩壊源頭部の確認



現地踏査が困難な箇所の確認



林道災害の確認